

＜大会開催報告＞

初年次教育学会第2回大会会場校としてのご挨拶

濱名 篤
関西国際大学

初年次教育学会の第2回大会の会場校をお引き受けして1年が経過しました。今回の学会大会は、昨春の同志社大学での設立総会、2008年11月の玉川大学での第1回大会に続く、学会発足以来1年半で3度目の行事にあたります。この間、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」が2008年12月に出され、答申の中で明確に初年次教育が学士課程教育の一部に位置づけられるようになり、本学会のプレゼンスも一層高まりつつある時期に大会校をお引き受けできたことを光栄に思います。

大阪市に隣接し、交通至便な尼崎のJR尼崎駅に近い尼崎新キャンパスを2009年春にオープンさせることができ、会員各位に来学していただきやすい条件でしたので、本学としては初めて学会大会会場校をお引き受けしたことになります。キャンパス自体はビル一棟だけですし、周辺の開発が予定より遅れ、JRの駅から専用歩道だけで来学していただける環境が整っていない段階での開催でした。2009年4月より教育学部の3・2年生が三木キャンパスから移ってき、1年生が入学してきたばかりで、教職員もまだまだ慣れないことばかりの時期でしたが、関西在住の理事・会員と本学の教職員で構成する準備委員会の皆さんのご協力を得て、本学会らしい初年次教育的なホスピタリティと、関西人のサービス精神を発揮した大会づくりを心がけたつもりです。

9月の新大型連休の冒頭にあたり、参加していただきにくい日程になりましたが、参加者は、会員260人、非会員110人、計370人の多数を数えました。特に、非会員に100人以上参加していただいたことは、初年次教育への関心の高まりを実感するものでした。内容を見ると、ワークショップが9/19 4本、9/20 4本の計8本、自由研究発表は9/19 7会場 41本、9/20 3会場 10本の計51本、ラウンドテーブルが4本、他に大会校企画シンポジウムとして「高大接続からみた入学前教育」を開催しました。懇親会にも153人（招待者・スタッフを除く）に参加していただき、スパークリング・ワインでの乾杯、たこ焼きやお好み焼きといった関西の味をご賞味いただくことができましたし、最後まで食べ物や飲み物が無くなることなく胸をなで下ろしました。

本学会らしく閉会式にも多くの会員各位に参加していただきました。会場から帰られる際に、大会と学会に対する感想や要望をポストイットに書いて、貼りだした紙に貼っていただき、広く会員の皆様の声を伺うことができました。その結果を次頁以降の通りにまとめました。大会としては、課題もご指摘いただきましたが、多くの参加者から暖かい言葉を頂き関係者一同うれしく思っております。特に、学生達への賛辞やねぎらいの言葉を多く頂いたことは、初年次教育に力を入れてきた大学として、最もありがたい言葉でした。

率直な皆様の言葉をそのまま掲載するか迷いもありましたが、すべて記させていただきます、今後の大会に活かしていただこうと思います。

最後に、実行委員会の上村和美事務局長（本学）をはじめ、実行委員、本学学生などご協力いただいた皆様に衷心より感謝申し上げます。

（初年次教育学会 第2回大会委員長）

閉会式で依頼した会員からのコメント

(1) 日程について

連休以外ヒマはないのでこの日程でよかった。

高等学校関係者がもっと参加しやすい日程や空気をご検討いただければ幸いです。

(2) 場所について

大会は大都市だけではなく日本各県で廻してほしい。

(3) シンポジウムについて

シンポジウムは大会2日目にするのはいかがでしょう。

(4) 自由研究発表について

自由研究発表の発表時間、質疑対応時間を事前に知らせてほしい。

「自由研究発表」は20分+5分（質疑応答）に。

移動時間の確保。

自由研究発表者の方々は参加者に「レジメ資料」等を配布するよう徹底して頂きたいと思えます（要望です）。

各セクションの報告時間と討論時間をもっと十分にとってはどうか（報告件数を減らしても）。

研究発表の時間を（20→30分）15分（質疑5分）→20分（質疑応答10分）に延長していただければと希望します（お世話になり有難うございました）。

各大学の発表では20分では短いような気がします。40分程度かけて、もう少し深掘りした内容を報告するセッションがあってもいいような気がします。2日間お疲れ様でした。ありがとうございました。

自由研究発表などの形式がアクティブでいい。しかし、そのための教室を用意してもらうため？の事前登録は変更がありうるのではなくてもいいのでは？

自由研究発表者のスケジュール（時間）は、冊子で予告されている時間で進めてもらえるとありがたいです。早く進む場合が多く、会場を移動しても、もう次が始まっていて、途中からしか聞けないことがありました。

研究発表の持ち時間（質疑とプレゼンそれぞれの時間）を事前に教えて頂きたかった。

自由研究発表に総括討論を設定してくださるとより討論が深まると思えます。

自由研究発表には「総括討論」を設けてほしい（発表者が発表後に抜けられるのはどうかと思う）。

事例研究のみの発表はポスターセッションでもよいのではないかと。

自由研究発表では討論時間を10分位は欲しい（発表を短くして）。

発表時間を20分→30分に（可能であれば）。

ワークショップの回数、時間の充実。

各発表内容のパワーポイントのコピーを必ず配布された方がよいと思えます。

移動時間がもう少しあるといい。

(5) ラウンドテーブルについて

ラウンドテーブルをもう一つ増やしてはどうか。

ラウンドテーブルは廃止した方がよい。共同研究に一本化すべき。

様々な取り組みを拝見でき、本当によいはげみになりました。ラウンドテーブルでの資料はもう少し早くいただけるとディスカッションがスムーズになるのではないのでしょうか。

(6) ワークショップについて

ワークショップ楽しめました。

参加者の問題意識にレベルの差が見られました。ワークショップや、ラウンドテーブル

はさらに細かいグループ、発表の分けが必要に思います。

ありがとうございました。ワークショップが楽しみな学会です。フルに参加できるスケジュールを希望いたします。

ワークショップの時間をもう少し長めに設定していただければ幸いです。テーマの主旨を十分理解しきれないうちに時間の経過してしまったワークショップがありましたもので。

ワークショップやグループディスカッションの時間がもう少しあると良い。ロールプレイ（学生役、教員役）などもあるとよいのでは。

ワークショップおもしろかったです。とても良い勉強になりました。ありがとうございました。

ワークショップⅡ-Bのアクティブラーニング、私にとっては「指示が明確でなければ何をしたいか分からない」という実地体験でした。七つの新聞記事全てを使って要約なのか、適宜情報を取捨選択して何らかのストーリーを再構築するのか、与えられた以外の情報を用いてもいいのか…何のために何をまとめたらいいいのかよくわからないままでした。

ワークショップによっては報告のみで終わってしまって、フロアからの質問に十分に答えられないものがあつた。もう少し余裕のあるタイムテーブルを！

ワークショップはもう少し時間があつた方がいい（若干消化不良）。

ワークショップは最高でした。もっと時間がほしいくらいでした！

ワークショップの際、小型のポストイットがあると助かります。また、サインペンなどは人数分あつた方が効率よいと感じました。ワークショップⅡ-B

ワークショップをもう少し時間をかけてやりたいと思いました。「初年次教育」のとらえ方の中で自由研究のカテゴリをもう少しこし区分けしてほしい。

(7) 要望

アクティブラーニング演習教室開催（学生も参加）。

定番テキストの著者を4名程度並べてのシンポジウム。テキスト作成の諸問題を広く語ってもらおう。

大会だけではなくテーマ別等の小規模な研究会、実践報告会、シンポ等の開催を望みます。

初年次教育学会のすばらしさは身体も心も頭も使うところです。WSがもっとあつてもいいですし Round table も少人数化して議論も活発にできればすばらしい。学生さんもお疲れ様でした。

初年次教育の定義を議論するようなシンプルな企画も開催したらおもしろそう。

大会を一大学だけで運営するのは大変でしょう。近くの大学が協力するようなことも考えてはいかがでしょう。

資料を入れる小さなペーパーバックの配布があると便利です。

要旨集があらかじめもう少し早く読めると予習もできて良いかなと思いました。難しいとは思いますが…

非常によく組織された学会で、ありがとうございました。出版物等（テキスト）のブースがもっと大きいとよかったと思います。

参加者名簿（発表・懇談会の参加等付きの）があつたほうがよいのでは…作成大変でしょうが。

学生割引制はやっぱり考えてほしいです。

駅からの案内が分かりにくい点がありました。時間を超過する発表は短くしていただければと思います。

学会員の名簿の正規版を作成し会員に配布してください。

今回は参加者の所属する大学（学部）の DP, AP を壁などにはりつけて見られるようにしていただきたい。

懇親会，デザートとワイン，日本酒も…。

休憩室にお茶だけでなくお菓子もあった方が…。

学ぶ場でもあるので，参考文献など紹介する場があれば，ありがたいですね。（HP など）教育関係のわからない専門用語もあります。

初年次教育に関する学会が持っている know-how を data base 化して，公開してもらいたい。

事前に読んでおいた方が良い参考文献，図書などあれば教えていただきたいです。その方が討論に参加できるので。

(8)感想など

「初年次教育」は幅広い言葉なので共通に話せるようにうまくカテゴライズできれば良い。

非常にレベルの高い学会に参加させていただきました。次回も楽しみに研究にはげみたいと思います。

自校の初年次教育の問題を考える上で大変参考になりました。

来年もまた参加させていただきます。

ありがとうございました。来年も必ず参加したいと思います。

関西国際大学様 お弁当有難うございました。よい大会だったと思います。

ご苦労様でした。未納者対策をもっと明確にしましょう！144人は多すぎます。

閉会式で意見が出せるのはこの学会のいいところ。

今回は理工系のセッションを持ってよかったです。

初年次教育のいろいろな取り組みを知れて大変良かったです。ありがとうございました。

第一回大会よりも良かった。

ホスピタリティのあふれる学会でした。

(9)スタッフへのメッセージ

学生のスタッフのみなさん，ありがとうございました。

大会主催関係者の方々に心より御礼申し上げます。お疲れ様でした。大変素晴らしい大会でした。ありがとうございました。

大会運営ご苦労様でした。すべての部会に参加できません。配布資料は PDF 形式などで web から会員はダウンロードできるようになると助かります。また，ポスターセッションも…かもしれません。

Many Thanks!

行き届いた運営に感謝！（部屋によっては空調が最適でない場合もありました。小さなことですが）学生スタッフの皆さん，ありがとうございました。

大変心地よく学会参加させていただきました。道案内：会場サービスも良かったです！クロークがあったら，宅急便手配もあったらもっといいかも。

学生の皆さん達どうもありがとうございました！

学生スタッフの皆さん。ありがとうございました。

学生スタッフが頑張っていて感心しました。ありがとうございました。

新しいキャンパス，学長，上村先生，スタッフ，快適な学会をありがとうございました。

2日間ありがとうございました。学生スタッフの方，テキパキと気持ちよく，「ホントに学生？」とびっくりしました。

以上